

## グライダー免許試験

角田市の阿武隈川河川敷の角田滑空場で先ごろ三日間、グライダーの免許試験が行われた。平日も開放している同滑空場の利点を生かし、初の試験を実施。これまで県内では曜日を気にせず自由に受験できる場所がなく、関係者は「角田は平日に試験できるのが魅力。本格的な滑空場として利用価値が上がるのでは」と話している。

### 角田滑空場

東京航空局の試験官が現地を訪れなくなった。加えて、試験官を招く試験を実施したのは、動力のないグライダーを操縦する「自家用操縦士」滑空機上級。仙台の学生ら六人が、基本的な週末に開放される霞受験し、関連法案などの口述試験とう。

## 平日受験が魅力

実技試験に臨んだ。県航空協会によると、県内の免許試験は陸上自衛隊霞目飛行場(仙台市)が会場となっていたが、米同時中核テロに伴う警備強化で利用でき

# 代替地とは言わせない

利用価値も急上昇



後部座席の試験官とともにグライダーに乗り込む受験者—角田市の角田滑空場